

レーザーキャッチャー LBP-PR2

取扱説明書

この度は、デンサン レーザーキャッチャー LBP-PR2 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にあたっては必ず本書をお読みいただき、ご使用される方がいつでも見ることが出来る場所に必ず保管してくださいませようお願いいたします。

- 製品の仕様及び外観を改善のため予告なく変更することがあります。
- 掲載の図は、説明をわかりやすくするために、実際とは多少異なる場合があります。あらかじめ御了承ください。



	ご注意	このマークは製品の取り扱いを誤った場合に使用者が障害を負う危険および物的障害の発生が想定される事を示します。
	危険	このマークは安全上してはいけない「禁止」内容を示します。

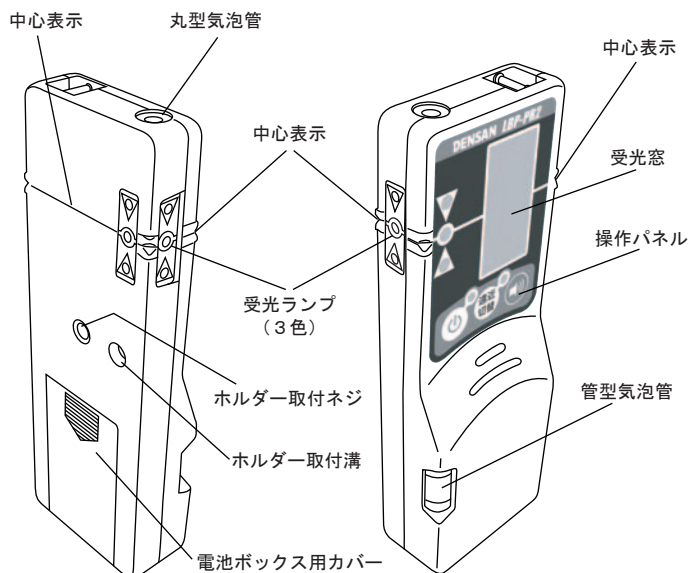
仕様

表 示	高輝度LED(3色) 正面、側面、裏面の3面表示、及びブザー音
検 出 距 離	1. 5m～最大50m(但し、レーザーライン中央付近、使用環境により異なる)
検 出 精 度	15m以内±0. 5mm 35m未満±1. 0mm 35m以上±1. 5mm
電 源	S-006P(6F22)型積層(9V)乾電池×1
連 続 使 用 時 間	約30時間(アルカリ乾電池使用時)
使 用 温 度 範 囲	－20℃～＋50℃ 結露なきこと
電 池 残 量 警 告	有 電源パイロットランプ点滅
防 水 ・ 防 塵	防沫、防塵型(IP54相当) *注1
オートパワーOFF	有、最後に操作又は受光後約6分
サ イ ズ ／ 重 量	150×52×25(16)mm 0.14kg

*注1

- 防沫型・・・『いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がない』という規格です。
- 防塵型・・・『器具の所定の動作及び安全性を阻害するじんあいの浸入から保護されている』という規格です。

各部の名称



操作方法

●電池の取付

電池ボックス用カバーをスライドさせ取り外してください。

押え部を軽く押ししながら、下方へスライドしてください。

電池ボックス用カバー

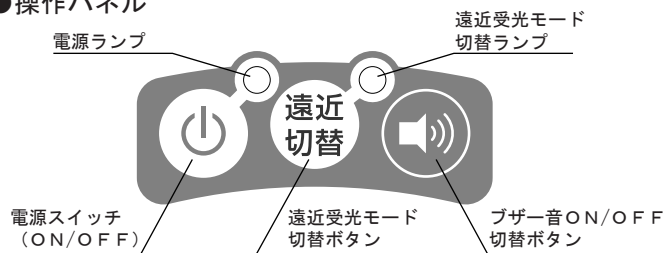
スライド

9V乾電池の＋、一端子を確認した後、電池ボックスの＋、一端子に合わせ入れてください。

電池ボックス用カバーを溝に合わせスライドさせ取り付けてください。

電池ボックス用カバー

●操作パネル



電源スイッチを押すごとに電源のON/OFFが出来ます。電源が入ると赤色の電源ランプが点灯します。
* 電源ON直後、3色の受光ランプが一回だけ順次点灯しますのでランプの球切れ確認が出来ます。



ボタンを押すごとに近距離受光モードと遠距離受光モードとに切り替ります。遠近受光モード切替ランプもそれぞれ黄色と赤色に切替わります。



近距離受光モード
(ランプ黄色)



遠距離受光モード
(ランプ赤色)

重要：『遠、近距離受光モードの使い分け』

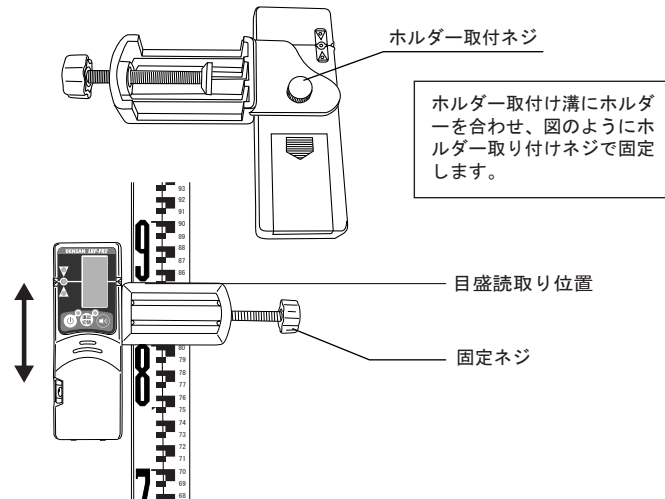
通常は近距離受光モード(ランプ黄色)で作業して下さい。近距離モードで受光できない距離、おおむね10m以上(環境により若干異なります)の距離の時に遠距離モード(ランプ赤色)で作業するようにしてください。7m以下の場合は遠距離モードでの作業は絶対にしないでください。



ボタンを押すごとに受光ブザー音のON/OFFが出来ます。

●ホルダーの使用法

受光器をスタッフ等に取り付け使用するときは付属のホルダーをご使用ください。



基準位置を検出する時は、固定ネジを軽く緩め、受光器をスタッフに沿って上下に移動させます。

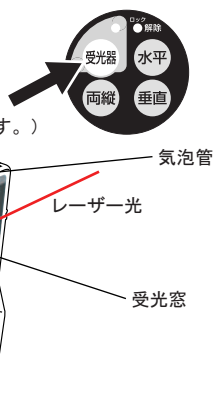
受光方法

●受光方法

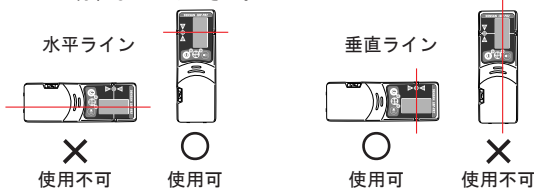
レーザーポイントライナー本体の操作パネルよりレーザーを受光器モードで照射します。

(図はLBP-5ZPの操作パネルです。)

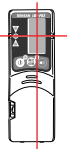
レーザーキャッチャーの電源スイッチを入れ、受光窓をレーザー光に向け受光します。
レーザーキャッチャー上に気泡管がありますので、レーザーキャッチャーが水平になるようにしてください。



注意 受光する場合は、図のようにレーザー光が受光窓に対して、必ず横切方向で受光してください。受光窓の長手方向での使用は、精度が出ませんので行わないでください。



注意 受光器使用時は水平ラインと縦ラインを同時に照射しないで下さい。図のように水平ラインと縦ラインが交差した場所付近では受光器が誤作動します。受光器を使用する場合は使用しないレーザーラインのスイッチを切るかテープ等で遮断してください。



●墨付け位置の検出

受光ランプ又はブザー音に従って受光器を上下（たちライン受光時は左右）させ墨付け位置を求めます。



受光器が低いので受光器を上に移してください。
ブザー音は“ビッビッ”と短い断続音



レーザー光が受光器の中心表示に一致しました。
受光器の中心表示が墨付け位置となります。
ブザーは“ピーー”と連続音。



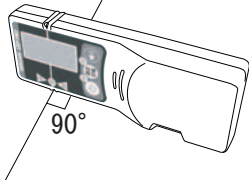
受光器が高いので受光器を下に移してください。
ブザー音は“ピーッピー”と長い断続音



注意 レーザーキャッチャー上の気泡管で水平を確認した後、墨付けを行ってください。

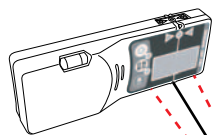


注意 受光器を横向きに使用する場合、下図のように出来るだけレーザー光または基準線と90°になるように、あるいは墨出器本体と正対させて使用してください。



●3色受光ランプについて

LEDの色が上から赤、緑、オレンジ色と異なるので遠方に受光器を置いて地墨線にレーザーを合わせる作業する時レーザーのズレている方向が簡単に認識出来ます。



レーザーは右にズれています。墨出器を回転させて左にレーザーを移動します。



レーザーは地墨線上にあります。



レーザーは左にズれています。墨出器を回転させて右にレーザーを移動します。

搭載機能

●電池残量警告



電池の残量が不足すると操作パネルにある電源ランプが点滅します。ランプが点滅したら新しい電池に交換してください。

●オートパワーオフ機能

最後に操作又は受光後、約6分で自動的に電源をOFFにします。電源の切り忘れによる無駄な電池消耗を未然に防ぎます。

ご使用上の注意



1. 作業時に、レーザービームは絶対に直接のぞかないでください。視力低下を招く場合があります。
2. 電池や本体を火中に投入しないでください。電池が破裂し、けがや火傷を起こす恐れがあります。
3. 絶対に分解しないでください。(故障、感電の原因になります)
4. 本体の異常に気がついたときは点検修理に出してください。
5. 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。(ご自身で修理されたものについては、当社は保証いたしません)



1. 直射日光や雨水などを受けない場所でご使用ください。
2. 落下させたり強い振動を与えないでください。
3. 精密部品で構成されております。分解や乱暴な取扱いは避けてください。
4. 作業は施工者の技術責任で行われるものであり工事不良に関わる一切の責務には応じられません。
5. 高温・多湿になる場所では保管しないでください。
6. 長時間使用しない場合は電池を抜き取り墨出器本体の収納ケースに入れて保管してください。
7. 受光窓は傷や汚れのない状態で使用してください。お手入れは受光窓が傷付かないように、乾いたやわらかい布で軽くホコリを拭き取ってください。また本体についてもシンナーなどの溶剤は使用しないでください。
8. 受光器は、本機より射出されるレーザー光線以外にも蛍光灯、工事灯のほか、変調された光あるいは変調された電波(空港内及びその周辺等)などに反応する場合やレーザー光を受光できない場合があります。これらの周辺では正しい測定が出来ない場合があります。このような時は原因と思われる変調光または変調電波を停止させるか、遮断して測定を行うようにしてください。
9. 受光器はガラスや水溜り、金属やビニールなどの高反射面の反射レーザーに反応する場合があります。ご使用の際は周辺にこのような高反射物がないことを確認してください。
10. レーザーは陽炎や高温により揺らぐことがある為測定が不安定になる場合があります。このような環境下でのご使用は避けてください。
11. レーザーキャッチャーLBP-PR2は弊社のレーザー墨出器LBP-ZPシリーズとの組み合わせのみにご使用ください。

故障かな？と思ったら

①レーザーを受光できない

- A. 受光器の電源は入っていますか
- A. 電池の＋、－は正しく装填されていますか
- A. 墨出器本体の操作パネルが受光器モードになっていますか
- A. 電池の残量を確認してください。
- A. 墨出器のレーザーは照射されていますか
- A. 蛍光灯や工事灯のほか、変調された光あるいは変調された電波(空港内及びその周辺等)付近では受光できない場合があります。それらを遮断してご使用ください。

②誤作動する。

- A. 受光距離1.5m以下では使用しないでください。必ず墨出器本体より1.5m以上離してレーザーキャッチャーをご使用ください。
- A. 受光距離7m以下で遠距離受光モードで作業すると誤作動する場合があります。7m以下の場合は近距離受光モードで作業してください。
- A. 蛍光灯や工事灯のほか、変調された光あるいは変調された電波(空港内及びその周辺等)付近では誤作動する場合があります。それらを遮断してご使用ください。
- A. 受光器はガラスや水溜り、金属やビニールなどの高反射面の反射レーザーに反応する場合があります。ご使用の際は周辺にこのような高反射物がないことを確認してください。
- A. レーザーは陽炎や高温により揺らぐことがある為測定が不安定になる場合があります。このような環境下でのご使用は避けてください。

ジェフコム株式会社

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16
TEL 0729-86-5900